

# お茶の間

2016  
春夏号



■編集/発行  
高橋正子事務所

〒491-0044  
一宮市大宮 1-3-6  
グランドメゾン大宮 1F  
TEL(0586)71-2900  
FAX(0586)71-5380

料金後納  
郵便

ゆうメール

## 高橋正子県政報告

# PRESS

愛知県議会議員  
高橋正子  
(一宮市選出)



ご家族の皆さままでご覧ください。

地域に密着した会報をお届けします。

# 平成28年度愛知県議会がスタート!



●常任委員会  
**農林水産委員会**  
●特別委員会  
**中京大都市圏形成調査  
特別委員会**  
に決まりました!

本県では、昨年10月に策定した「愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、2060年に700万人程度の人口を確保するという展望の実現に向け、産業振興や雇用対策のほか、魅力発信、女性の活躍促進、子育て支援など幅広い施策への取組として平成28年度がスタートしました。平成39年のリニア中央新幹線の開業を見据えた中京大都市圏づくりを総合的に進めるためにも、愛知県が直面する課題を捉え、一年一年、重要プロジェクトを着実に推進していくことが必要です。

今年度、愛知県議会常任委員会は「農林水産委員会」、特別委員会は「中京大都市圏形成調査特別委員会」に所属が決まりました。本県は、産業の分野ではナンバー1のモノづくり県で知られていますが、農業分野でも全国有数の農業県です。特に花卉の生産は53年連続日本一!です。こうした愛知の力をさらにパワーアップし、農林水産業の振興と広く県政の発展のためのこの一年も尽力してまいります。

高橋正子

2016年4月14日に発生した「熊本地震」により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表しますとともに、皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## くまモン募金箱を展開

当事務所では「くまモン募金箱」を設置して募金活動を展開しております。



5月9日(日)には、後援会が開催した「第11回田楽&串パーティー」で募金活動を行いました。

## ●募金のお礼と報告●

皆様から頂いた総額40,031円の善意は、5月16日に日本赤十字社を通じて被災地にお送りいたしましたので、ご報告いたします。

## プロフィール

- 昭和33年11月 一宮市大宮に生まれる
- 昭和57年3月 愛知学院大学法学部法律学科卒業
- 昭和58年4月 (株)一宮タイムス社編集部に入社
- 昭和63年8月 一宮タウン情報誌「EGG」を創刊、編集長
- 平成12年2月 (有)お茶の間通信社を設立、代表取締役
- 平成15年4月~ 愛知県議会議員に初当選、以後連続当選し現在4期目

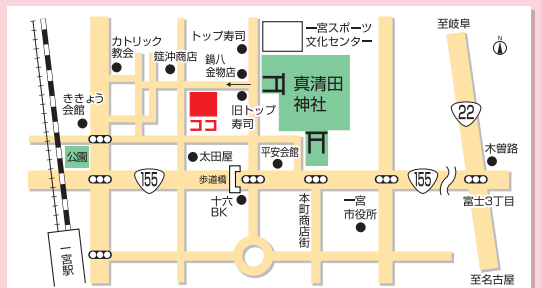
## 愛知県議会議員おもな役職・職務実績

- 平成19年5月~20年5月 民主党愛知県議会議員団政務調査会長
- 平成21年5月~22年5月 愛知県議会健康福祉委員会委員長
- 平成24年5月~25年5月 民主党愛知県議会議員団幹事長
- 平成25年5月~26年5月 名古屋港管理組合議会監査委員
- 平成26年5月~27年5月 民主党愛知県議会議員団副団長
- 平成27年5月~28年5月 産業振興・環境対策特別委員会委員長

## 事務所のご案内



〒491-0044  
一宮市大宮1-3-6  
グランドメゾン大宮1F  
TEL(0586)71-2900  
FAX(0586)71-5380



http://www.masakonet.info  
E-mail 138@masakonet.info



### リニアインパクトを生かし、世界に発信する「中京大都市圏」づくり

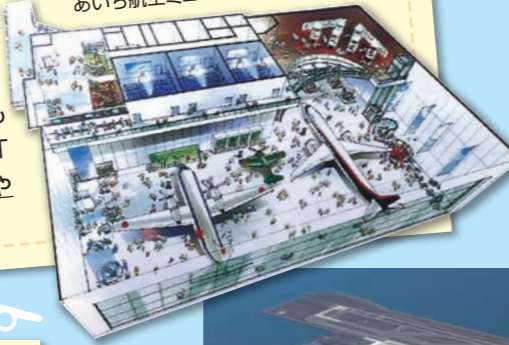
- 2027年度のリニア中央新幹線開業後に中京大都市圏の玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化の推進と、リニアによる時間短縮効果をより広域に波及させ最大限に活用するために名古屋駅からの40分交通圏の拡大を推進。
- 中部国際空港の二本目滑走路をはじめとした空港機能の強化実現に向け、エアポートセールスやアウトバンドを促進。

### 世界をリードする日本一の産業の革新・創造拠点「産業首都あいち」づくり

- 燃料電池自動車(FCV)のさらなる普及に向け、本県独自の補助制度により水素ステーションの整備促進と新たな燃料電池フォークリフトの導入への支援。
- MRJの生産拠点が整備されていくことに伴い、県営名古屋空港に航空機をテーマとした見学者の受入拠点施設として「あいち航空ミュージアム(仮称)」を整備(平成29年度供用開始予定)
- 自動走行の実証実験エリアを拡大するとともに、ロボット産業についても医療機関と患者をITでつなぐ「リハビリ遠隔医療システム」の実証や「リハビリ支援ロボット」の臨床研究を促進。



あいち航空ミュージアム(仮称)



## 平成28年度一般会計予算は2兆5,250億円！(前年対比1.7%増)

モノづくりをはじめ、日本一の「産業力」をさらに強くすることで働く場をつくり、人を呼び込み、また新たな産業・雇用を生む好循環を継続・加速させていく。そして若者、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人など、すべての人が輝き、すべての人が活躍する愛知をつくるための平成28年度主要事業がスタートしました。



### 全国有数の大農業県としてさらにパワーアップのための「農業水産業の振興」

- 「あいち型植物工場」を産地へ拡大インターネットやスマートフォンに代表される情報通信技術「ICT」等を活用した環境測定装置や生育環境の制御に必要な装置などを導入し、生産性を向上させる「あいち型植物工場」の整備を支援。
- 「花の王国あいち」を幅広くPR! 本県は53年連続花き産出額全国1位を誇る花の王国。10月にトルコで開催されるアンタルヤ国際園芸博覧会に出展するとともに、11月には弥富市で「あいち花フェスタ2016(仮称)」を開催。



大規模展示場建設予定地

### 観光あいちの推進



- 平成32年度までに来県者数5,000万人、このうち外国人400万人、観光消費額1兆円を目標に「ハート・オブ・ジャパン」のキャッチワードのもと、観光プロモーションを強化。また、中部国際空港の隣接地に約60,000㎡の展示面積を持つ大規模展示場を整備(開業予定:平成31年秋)し、首都圏に並ぶ交流拠点を目指す。
- 平成28年秋には「ワールドサムライサミット2016」を開催し、今年度結成した「徳川家康と服部半蔵忍者隊」の活動を強化して「武将のふるさと愛知」をPR。



をつくるための主要施策がスタート!

### 医療・福祉の充実で日本一の健康長寿を実現

- 団塊の世代が75歳以上となる平成37年に向け、「地域医療介護総合確保基金」を活用して、病床の機能分化・連携や在宅医療の充実、介護施設などの整備、医療・介護従事者の確保に取り組むとともに、地域包括ケアを推進。
- あいち小児保健医療総合センター本館改修(平成28年中 新生児医療の開始)と、医療療育総合センター(仮称)の整備(平成28年6月 医療型障害児入所施設開所)、精神医療センター(東病棟、デイケア・体育館棟)整備(平成29年度中供用開始)



### 文化・スポーツ・魅力発信

- 本年は「芸術・アートの年」で、「あいちトリエンナーレ2016」、「第31回国民文化祭・あいち2016」、「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」の開催。
- 豊田市と連携した「ラグビーワールドカップ2019」の開催準備や「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の競技招致および合宿誘致、「FIFAフットサルワールドカップ2020」の日本・愛知への招致推進。あわせて、2020年東京オリンピック・パラリンピック強化指定選手の競技力強化。また、アジア競技大会など国際的スポーツ大会の開催可能性の検討調査。



### 「安全・安心なあいち」をつくる

- 木曾三川下流域のゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備計画の策定。
  - 消防団への加入促進を図るため、消防団を地域で応援する「消防団応援事業所制度」の導入。
  - 交通事故死者数の減少に向け、交通安全施設の整備、道路標示・標識の整備、信号灯器のLED化を進める。
- 【平成28年度】
- 信号機新設 29基
  - 信号機改良 1,131基
  - 信号灯器のLED化 5,175灯
  - 道路標識の新設・更新 11,369本
  - 道路標示の新設・更新 3,238Km

### 元気な愛知の礎となるのは「人づくり」=「人財力の強化」

- 本年4月に開校した、本県の工業教育の中核となる「愛知総合工科高等学校専攻科」の公設民営化準備(平成29年4月開始)
- 「あいち女性の活躍促進プロジェクト」の充実に向け、とりわけ中小企業における女性の活躍を促進。さらに「あいち・ウーマノミクス研究会」を開催して女性のキャリア形成を推進。
- 将来にわたってモノづくりあいちを支える人材を創出していく取組として、2019年技能五輪全国大会の開催準備及び連続開催に向けた誘致活動を展開。



### 「環境首都あいち」の確立

- 省エネ活動の推進や再生可能エネルギーの導入促進と、「あいち自動車環境戦略2020」に基づき、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車をはじめとする次世代自動車の普及促進。